

ラグビー憲章と fair play

ラグビー憲章の Introduction の第 2 段に次のように述べられています。

「ラグビーはプレーするにしても補助の支援に当たるにしても、勇気(courage)、忠実(loyalty)、スポーツマンシップ(sportsmanship)、規律(discipline)、チームワーク(team work) のような多くの社会的な概念を包含している。

fair については特にとりあげられていません。

競技法の項に fair play が出てきます。

「ラグビーは各チーム 15 人の 2 チームがフェアプレーを守り observing fair play 点を取りあう競技である」と述べています。

observe は守るという意味ですが、観察するという意味によく使われ observer は観察者・見守る人ということです。

競技規則の原理・原則の項では次のようになっています。

競技規則の基盤となるものとして次の 3 つをとりあげています。

1. 全ての人々のスポーツ：A Sport For All
2. 独自性の保持：Maintaining the Identity
3. プレーする喜びと楽しさ：Enjoyment and Entertainment

総括的に普及指導の立場から明確に分かり易く示されています。

ラグビー精神が文字に書き込まれた競技規則の不変の根本原理は

1. イコールコンディション：equal condition
2. オープンプレー：open play
3. 安全：safety

の 3 つで、単なる競技法でなく方向性を示しています。

競技規則の適用の項では、

「There is an overriding obligation on the players to observe the Laws and to respect the principles of fair play」

プレーヤーは競技規則を守り fair play の原則を尊重することをやり遂げる責任があるわけで、競技規則を守る observe し、fair play の原則を尊重する respect しなければならないのです。

レフリーとタッチジャッジは、公平 fairness と首尾一貫 consistency と鋭い感性 sensitivity と高度のやり方 at the highest levels, management によりその仕事を全うしなければならないのです。

[fair] は博覧会という意味もあります。公明正大とか正々堂々という意味の英語として使われています。辞書で一番目にあげられる意味は、美しい beautiful で清いといった感じが続き、fair sex 女性から blond 金髪と広がります。means 方法と句としては、by fair means or foul いかなる方法によっても、方法の是非にかかわらず by fair means of moderate equality or amount (not bad) moderate に中庸という意味です。favorable 都合のよい way to succeed という意味に使われることもあります。

fair の語感に広さと深さがあることがわかります。公正とか公平と単的な内容でないのです。勝利至上主義にはしり、反則でペナルティを科せられることが多いのに全く平気で激しさだけに感激するのは fair であるとは言えないのです。

gentleman-ship の線上で評価する場合も、fair play の意味は公平なプレーというのは全く間違いでないにしても、それだけでは不十分です。野球のストライクは fair ball は公正なボールという意味よりも打つのに良いボールということでしょう。ゴルフの fairway もゴルフを楽しむのにふさわしい言葉が使われています。

競技規則の適用に関しては 公平性 fairness は絶対重要です。憲章の中に競技の根幹になるものとして掲げられた勇気、忠実、スポーツマンシップ、規律、チームワークを大切に、平等な状況イコールコンディションから、獲得したボールをオープンプレーに努め、しかも十分安全に留意することによって、ルールを生かして競技を楽しむことがラグーマンの本分であることの自覚が大切です。そして fair であるとは、「思いやり」をもって行動することで、スポーツを楽しむ心豊に生きることを教示しているのです。

Rugby : A Sport For All ! A Way of Life !